

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) JFEロックファイバー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
本票作成	部署名：製造部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	ロックウール・同製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	JFEロックファイバー		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5年度)排出量		目標年度(令和6年度)	
	36,385 t CO ₂		32,024 t CO ₂		39,000 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5年度)排出量	
	①	JFEロックファイバー		32,024 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5年度)削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.7 %	△ 6.6 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量144.8[千t]	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5年度)	目標年度	
		237.036 t CO ₂ /(千t)	221.212 t CO ₂ /(千t)	252.591 t CO ₂ /(千t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】 昇熱に多量の電力使わざるを得ない冷スラグを多く使用しており、電気炉の放熱量も増加していることから電力原単位は悪化傾向にある。 ⇒▲ 9.113 [tCO ₂ /千t] ※排出係数は基準年度で計算 しかし、中国電力の電力排出係数が低下したことで原単位当たり排出量は大きく改善している。 ※電力排出係数：(基準年度)0.000618⇒(令和5年度)0.000537[tCO ₂ /kWh] ⇒△ 31.140 [tCO ₂ /千t]					

【推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、社内収益改善会議にて電力原単位の計画に対する達成状況をフォロー ・半年毎に社内利益計画策定において電力原単位の計画を見直し
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
JFEロックファイバー	<p>(令和5年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スラグ成分調整精度向上による過剰電力抑制：110 tCO2削減 <p>BCP対応のためSiO2濃度の異なる珪砂を電気炉に投入し、スラグ成分調整を行っているが、珪砂の切り替わりの際に成分バラつきが生じ、過剰な電力を掛けて成分調整を行うことがある。珪砂積算計を取り付け、珪砂の切り替えタイミングを明確化し、過剰電力を抑制した。</p> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷スラグ使用量削減による溶解電力削減：1,200tCO2削減（令和6年度） ・工場内ヤード照明LED化：10 tCO2削減予定（令和6年度）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--